

## 令和7年度大船渡市消防団総合教養の実施について

### 1 実施目的

今年2月に大船渡市内で発生した大規模林野火災の経験と教訓をもとに、災害現場対応に必要な知識及び技能を修得し、技術の向上に資することを目的とする。

### 2 実施日時

令和7年11月16日（日） 7～12分団 午前9時  
1～6分団 午後1時

### 3 実施場所

旧吉浜中学校グラウンド（水利：コエダ企画付近の自然水利）

### 4 受講対象

各分団の部長、班長、機関員 総勢 約110名

### 5 実施内容

災害現場対応で最も重要な安全管理を主眼とした現場指揮及び活動要領を学ぶとともに、大規模林野火災発生時の現場対応で必要であった長距離中継送水要領と自然水利堰き止め方法の技術を習得し、併せて実際の災害を想定した長距離中継送水想定訓練を実施します。

### 6 備 考

- (1) 本訓練は、雨天決行予定です。
- (2) 駐車場は、旧吉浜中学校校舎裏とします。
- (3) 訓練中は、道路上にホース展開されている（横断している）可能性が高いため、車両で訓練会場内に進入する際は、細心の注意を払うとともに、誘導員の指示に従ってください。

# 大船渡市消防団総合教養会場図



ポンプ車



ポンプ車  
または  
小型ポンプ

報道関係者各位

## 大船渡市消防団「総合教養」を実施

～林野火災の教訓を踏まえ、安全管理と実践力の向上を目指して～

大船渡市消防団では、団員の実践的な知識と技術の向上を目的とした「総合教養」を本年度も実施いたします。

従来は「部長・班長教養」と「機関員教養」をそれぞれ個別に実施しておりましたが、昨年度より両教養を統合し、より現場に即した総合的な訓練として再編しました。今年度の総合教養では、本年2月に発生した大規模林野火災で得た経験と教訓を活かし、訓練内容を構成しています。

特に、林野火災活動において大船渡市消防団が最も重視した「安全管理」を主眼とし、現場指揮および活動要領を重点的に訓練します。なお、一連の林野火災活動においては、公務災害の発生はゼロ件でした。

また、林野火災対応において重要であった「長距離中継送水」および「自然水利の堰き止め方法」についても、実際の活動経験をもとに技術習得を図ります。これらは、消防署隊への中継送水や、ヘリコプター散水に必要な補水活動を円滑に行う上で不可欠な技術です。

今回の総合教養では、実災害に近い形で「長距離中継送水想定訓練」を実施し、有事の際に確実な送水活動が行える機関員の育成と、適切な指揮・統率ができる部長・班長の育成に取り組めます。

大船渡市消防団は、地域住民の生命・財産を守るため、今後も安全かつ実践的な訓練を継続し、災害対応力の強化に努めてまいります。